事　業　報　告　書

在京日南人会（創立 60 周年）総会・懇親会における日南レモン PR

報告日：2026 年 11 月 2 日

1　事業の概要

事業名	在京日南人会（創立 60 周年）総会・懇親会における日南レモン PR
区分	販路開拓・PR（地域資源活用）
実施日	2026 年 10 月 31 日（土）12:20〜14:30（第一部 総会、第二部 懇親会）
実施場所	六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 7 階 特設会場（東京都港区六本木）
主催・実施主体	主催：在京日南人会／日南レモンの提供・PR：下塚田ふるさと応援隊
参加者	出席者 約 250 名（日南市長、日南市議会議長、日南商工会議所会頭ほか来賓を含む）。当会からは応援隊の会員 1 名
担当	地域資源活用の担当（日南レモン生産組合の会員が繁忙期のため、日南レモンに詳しい応援隊の会員が担当）

2　事業の目的

創立 60 周年を迎えた在京日南人会の総会・懇親会には、関東在住の日南出身者や関係者が約 250 名集まる。この場で地域資源である日南レモンを PR し、首都圏での認知度の向上と、今後の販売促進につなげることを目的とした。農村 RMO 事業計画の「地域資源活用」の取り組みとして実施した。

3　実施内容

- 事前準備：出席者約 250 名から逆算して、必要な量を 150kg とした。日南レモンは日南レモン生産組合の会員から調達し、2026 年 10 月 26 日に東京へ発送した。出席者に配るための袋を用意した。
- 当日の内容：開会前に、会場の各席に日南レモンを配置した。出席者全員に、日南レモンを 3〜5 個ずつ配った。時期的にグリーンレモンだったため、2027 年 1 月 15 日〜17 日に宮崎県 KONNE

館（東京都新宿区）で開くイベントでは、黄色く色づいたイエローレモンを展示・配布することを伝え、来店して手に取り、味わってほしいと呼びかけた。

- 事後対応：写真記録の整理と、事業報告書の作成を行った。

4　成果

- 成果 1：日南レモン 150kg を、出席者約 250 名に 3〜5 個ずつ配って PR できた。
- 成果 2：郷里の日南で日南レモンが地域の特産として生産されていること自体が、首都圏の日南出身者にほとんど知られていないことが分かった。2027 年 1 月の宮崎県 KONNE 館でのイベントへの来場を呼びかけた。

5　事業費

事業に必要な経費は、農村 RMO の対象経費として適正に執行した。

6　課題と今後の取り組み

- 課題：日南 1 号（極早生みかん）、まんごう、日南きんかん「たまたま」などは既に知られているが、日南レモンの認知度はかなり低い。大きな可能性を持つ特産品であり、認知度を上げることが急務である。
- 今後の取り組み：2027 年 1 月 15 日〜17 日に宮崎県 KONNE 館（東京都新宿区）で開くイベントで、イエローレモンを展示・配布し、販売促進につなげる。首都圏での継続的な PR を進める。

7　事業ごとの追加項目（イベント）

- 来場者数：約 250 名
- 式次第：第一部 総会（12:20〜12:30）、第二部 懇親会（12:30〜14:30）
- 泰平踊（宮崎県民俗無形文化財）のエキシビションが行われた
- 日南市、日南市議会、日南商工会議所、地元の酒造などからも特産品の提供があった
- アンケートは実施しなかった

8　写真記録



1. 開会前の会場。全席に日南レモンを配置しました



2. 開会前の会場。出席者を迎える準備が整いました



3. 総会・懇親会の会場。各席に日南レモン



4. 在京日南人会会長のあいさつ



5. 開会前の会場。正面の看板と、来賓席に置いた日南レモン